Arundhati Roy on the Power of Fiction: Literature is

"The Simplest Way of Saying a Complicated Thing" We speak with world-renowned author Arundhati Roy on the importance of reading and writing literature, even in the most dire of political times. On Sunday night, Roy delivered the Arthur Miller Freedom to Write Lecture at the Apollo Theater in Harlem, invoking James Baldwin to argue that literature can tell the truth when all other avenues fail. Roy told her audience, "I very much like the idea of literature that is needed. Literature that provides shelter. Shelter of all kinds."

https://www.democracynow.org/2019/5/13/ arundhati_roy_on_the_power_of

Arundhati Roy on Why She Admires WikiLeaks & Opposes Assange's Extradition to the U.S.

We speak with award-winning writer Arundhati Roy, who has criticized the arrest of WikiLeaks founder and editor-in-chief Julian Assange. Roy and other public intellectuals in India called for Assange's immediate release, writing in a statement, "The journalism WikiLeaks and its Editor-in-Chief stand for is a journalism of outrage—outrage against the injustices and atrocities that take place round the world—but always with an eye to factuality, substantiation, and precision. … [1] fthe US had charged Assange and Wikileaks for publishing classified material, the legal case would have been no different from charging The New York Times with publishing the Pentagon Papers."

https: //www.democracynow.org/2019/5/13/ arundhati_roy_on_why_she_admires

Arundhati Roy on Kashmir, the Danger of U.S. Attacking Iran

... the ridiculousness of this, you know? I mean, of course, Iran has been a country that has historically stood against the U.S., because, I mean, in 1953, its democratic government was overthrown by the—I mean, in a coup by the CIA. But to destroy one of the last countries which is standing in that region, to accuse it of having nuclear weapons, when Israel has hundreds of *nuclear weapons* ... The understanding of—like I call it the understanding, you know, the connection between *insects, mammals, * the acidity in the ocean, corals, fish, *water in rivers, forests, rain*. You know, you can develop artificial intelligence, but you can't understand *these basic things*, which are just—you can't understand *the connection* between the planet you live on and your place in *the web of life*.

https://www.democracynow.org/2019/5/13/ arundhati_roy_on_kashmir_the_danger

Arundhati Roy: Capitalism Is a "Form of Religion" Stopping Solutions to Climate Change & Inequality

As 1 million species face extinction due to human activity and the globe faces a growing climate crisis, we speak with world-renowned author Arundhati Roy about the threat capitalism poses to the future of life on Earth. Roy says that those most responsible for creating the climate crisis "will see to it that they profit from the solution that they propose."

https: //www.democracynow.org/2019/5/13/ arundhati_roy_capitalism_is_a_form

アルンダティ・ロイが語るフィクションの力 文学は 「複雑な事を語る最も簡単な方法」

世界的に知られた作家のアルンダティ・ロイに、 最も切迫した政治的な時代に文学を読むことと書くことの重要性について聞きます。 ロイは12日夜、ニューヨーク・ハーレムのアポロ・シアターで行った 「アーサー・ミラー・書く自由」と題した講演で、 ジェームス・ボールドウィンを引用し、 他のすべての手段が尽きても文学は真実を語ることができると論じました。 ロイは聴衆に「私は『必要とされる文学』という考えを好みます。 さまざまな種類の避難所を提供する文学です」と語りました。

http://democracynow.jp/dailynews/2019-05-13

アルンダティ・ロイ ウィキリークスへの称賛とアサンジの米国への引き渡し反対を語る

スウェーデン検察はウィキリークス創設者のジュリアン・アサンジに対する性的暴行疑惑の調査を再開し スウェーデンでの訴追のために身柄の引き渡しを求めています。 スウェーデン検察は2017年、 アサンジがロンドンのエクアドル大使館に避難している間は案件を進めることができないとして調査を終了していました。 アサンジは7年にわたってエクアドル大使館に住み 今年4月に英警察によって強制連行されました。 アサンジはその後 スウェーデンへの引き渡しを避けるために保釈中の出頭を拒否したとして英国刑務所での禁錮50週の刑を宣告されています。 アサンジは性的暴行容疑を否定しています。 アサンジは以前にも別件で性的不品行の申し立てがありましたが、 2015年に時効が成立しています。 米国も イラクでの戦争犯罪の証拠資料を元陸軍兵チェルシー・マニングが暴露し内部告発した事件で、 アサンジの引き渡しを求めています。 ウィキリークスの創設者で編集長のジュリアン・アサンジの逮捕を批判してきた。 受賞歴のある作家、アルンダティ・ロイに話を聞きます。 ロイは他のインドの知識人らとともに、 アサンジの即時釈放を求める声明を発表し、次のように指摘しています。 「ウィキリークスとその編集長が支持するジャーナリズムは、 世界中で行われている不公平や残虐行為に対する怒りのジャーナリズムです。 それは、事実や実証、正確さを常に重視するジャーナリズムでもあります。 機密資料の公表を理由にアサンジとウィキリークスを訴追したのであれば、それは 『ペンタゴン・ペーパーズ』 を報道したニューヨーク・タイムズ紙を訴追するのと何ら変わりがありません。 http://democracynow.jp/dailynews/2019-05-13

アルンダティ・ロイ 米国のイラン攻撃は

「最大の過ち」

アルンダティ・ロイは12日夜、「ペン・ワールド・ボイシズ・フェスティバル」 の一環で「アーサー・ミラー・書く自由」 と題する講演をニューヨーク・ハーレムのアポロ・シアターで行いました。 ロイが講演の抜粋を朗読します。「米国政権はここ数年、 戦争の遂行と国際条約の一方的な破棄によって、自らが『ならず者国家』 の定義に完全に合致しています」とロイは指摘します。「そして今、 相変わらずの恐怖戦術、使い古された虚偽、 お決まりの核兵器のフェイクニュースを用いて、 イラン爆撃の準備を整えています。米国史上最大の過ちとなるでしょう」 *http://democracynow.jp/dailynews/20190513*

アルンダティ・ロイ: 資本主義は気候危機と不平等の解決を阻む 「宗教の一種」)

100万種もの生物が絶滅に向かい、 地球温暖化による危機もますます深刻化しています。 地球上の生命の未来に資本主義が及ぼす脅威について、 著名なインドの作家アルンダティ・ロイが語ります。… 資本主義のエッセンスは絶えず成長し続けることです。この「無限の成長」 信仰は、地球資源に限界があることを認めることができません。 自然の恵みに頼って生きる山や森の人々を暴力的に立ち退かせ、 化石燃料の動力を使ってハイペースの資源採取をつづければ、早晩、 山も川も森も枯渇してしまいます。気候変動は、その表れにすぎません。… それなのに、際限なく自然を略奪して気候危機を招いた張本人たちが、 「解決法を提案することで、利益を得ようとしている」とロイは指摘します。 (中野真紀子)

http://democracynow.jp/video/20190513-3